

宮城県知事 殿

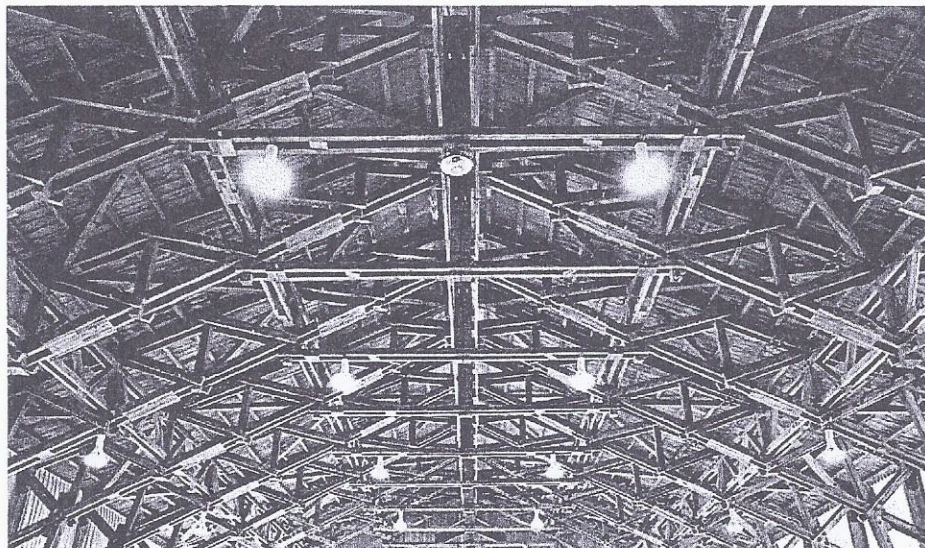
宮城県教育長 殿

宮城県岩ヶ崎高等学校旧体育館を後世に残したい

宮城県栗原市にある、宮城県岩ヶ崎高等学校の旧体育館は戦後建てられ、全国的に見ても現存する木造体育館としては極めて少なく、歴史的・文化的価値の高い建造物です。

しかしながら、このたび昭和29年(1954年)に建築された木造トラス構造の旧体育館が、キャンパス整備計画に伴い取り壊される事になりました。

数度の大地震にも耐え、63年の風雪にもビクともせずには建ち続け、現在も使用されている「旧体育館」を地域の宝としてを後世に伝え残すため、取り壊しの再検討を求めます。



旧体育館は、終戦後の資材不足の折、全国で学校教育施設の充実が急務だった時期に地域で入手できる木材を合理的に使い建設することを目的に作られた、日本建築学会「木構造計算基準・同解説、附：木造学校建物規格の構造計算」(1949年)の内容による「標準設計」をもとに宮城県の技師、宇野安氏が設計しました。宮城県公文書館に設計図面と工事書類が残されており、建造物とセットで価値を高めています。なかでも、田植え時期の労力不足を理由に提出された「工期延期願」は、建設当時の地域特性を示すエピソードと言えるでしょう。

※ボールペン・サインペンで記入して下さい。(鉛筆不可) 住所が同じでも省略しないで書いて下さい。

	氏名	住所	ひとこと
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

ご記入頂いた氏名住所は、この提出以外に使用する事は一切ありません。

返送先：岩高旧体育館を考える会 発起人：江口拓也(えぐちたくや)

〒989-5613 栗原市志波姫新沼崎174-2 電話：090-1934-7917 電子メール：iwakou9tai@gmail.com